



活動を紹介！



【小町屋区】(令和7年度 小町屋区区長 高橋茂正)

小町屋区では、近年、新規入居者の増加が続いています。例年は数軒程度であった新規入居が、昨年度は6軒、今年度は17軒と大幅に増え、多くの方を地域にお迎えすることができました。現在も新築住宅の建設が進んでおり、今後も入会者の増加が見込まれます。

この背景には、農地転用や宅地の分割・売買の進展に加え、市役所のご協力が大きく寄与していると感じています。特に、転入手続きの際に区や自治会への加入案内を丁寧に行っていただいていることが、加入率の向上につながっています。その結果、ほとんどの新規入居者の方に区・自治会へ加入していただくことができました。

近年では、「ごみ集積所の利用」を理由に自治会を離れる動きも見られる中で、これほど多くの方に加入していただけていることは、地域として大変心強く、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、小町屋区では毎年1月中旬から下旬にかけて新規入居者歓迎会を開催しています。今年は公民館が満席となるほど多くの方にご参加いただき、にぎやかな会となりました。歓迎会では、区の行事や美女ヶ森の祭りの紹介、民生児童委員の役割などをお伝えし、その後の役員との懇談の場では、地域とのつながりを深めていただく機会となっています。

転入前の居住地はさまざまですが、特に県外から来られた方からは、「東に南アルプス、西に中央アルプスを望む景観に魅力を感じた」「登山が好きで、この環境に惹かれた」といった声を多くいただいています。改めて、地域の持つ魅力を実感する機会にもなっています。

一方で、新規入居者の増加と既存住民の高齢化により、隣組の構成に偏りが生じており、再編の必要性も感じています。こうした課題にも向き合いながら、今後も新しい住民の皆さまが安心して地域に溶け込めるよう、受け入れ体制の充実を図っていきたいと考えています。